

広瀬川創生プランに基づく取組事業のうち重点的に取組む事業を重点事業として広瀬川創生プラン策定推進協議会で毎年度認定している。

重点事業認定の基本的な考え方

●多様な主体が参画できること

市民・NPO・行政・企業などの多様な主体が、お互いを尊重しつつ力を合わせて協働できるもの

●多くの市民が関わることができること

多くの市民が気軽にかつ自発的に参加することができるようなもの

●あらゆる方面への波及効果が高いこと

世代・地域・立場などを超えて、取組みの成果が幅広く波及するもの

●ソフト中心の取り組みであること

川づくりの中でも、広瀬川の自然環境等を活かしたソフト中心のもの

令和6年度重点事業について

■重点事業1 「広瀬川1万人プロジェクト」

事業概要	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、広瀬川流域を含む河川・海岸一斉清掃を実施
実施主体	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会
成果目標	参加者数 2,200人程度 ※春：800人、秋：1,400人程度と見込む
実施日・会場	【第35回】 春の一斉清掃：令和6年4月27日（土）広瀬川流域を含む9会場 【第36回】 秋の一斉清掃：令和6年9月28日（土） " 18会場

令和6年度重点事業について

■ 成果目標

参加者数 約2,200人程度

(春：800人、秋：1,400人)

■ 評価

参加者数は2,554人（春：880人、秋：1,674人）となり、目標を達成することができた。また、秋の一斉清掃では、その様子が「2024あしたのみどりキャンペーン」特集記事（河北新報、10月30日）に掲載された。

《太白大橋会場（秋の一斉清掃）の様子》



■ 来年度に向けて

今年度も年2回の清掃活動が行われ、その様子が「2024あしたのみどりキャンペーン」特集記事として新聞に掲載され、市民・企業・行政が連携する取組みとして紹介された。今後も様々なエリアにおいて市民が広く参加できる本活動に対して、仙台市も共に取組み、広瀬川の清流を保全する活動を引き続き支援する。

令和6年度重点事業について

■重点事業2 広瀬川自然体験学習（アイラブ広瀬川プロジェクト）

事業概要	インストラクターの指導のもと小学3～6年生を対象に川の生き物探しやカヌー体験等を中心としたイベントを実施
実施主体	仙台市百年の杜推進課（協力：広瀬川市民会議）
成果目標	80%以上の参加者に満足していただく
実施日・会場	令和6年9月16日（月・祝） 大橋上流側※（西公園南側の広瀬川）

※令和2年度からニッカウヰスキー(株)仙台工場の敷地に隣接する新川で開催していたイベントを、令和6年度は大橋付近で開催

令和6年度重点事業について

■ 成果目標

80%以上の参加者に満足していただく

■ 評価

参加者17人にアンケートを実施し、結果、100%の参加者から『とても満足』『満足』との高評価が得られた。

「捕まえた水生生物を観察する様子」



「カヌー体験の様子」



■ 来年度に向けて

アンケートでは『思ったより大きい蟹がいて驚きました』や『カヌーに乗って色々な景色を見て、オールの漕ぎ方も学びました』などの感想と共に、『とても満足』『満足』との高評価をいただいた。今後も広瀬川の魅力を再認識していただけるような取組みを継続していく。